
Rokko Catholic Church Bulletin

カトリック六甲教会 教会報

2008

4

No.436

復活の喜びと共に

助祭 片柳 弘史

主のご復活、おめでとうございます。

死の苦しみを乗り越えて、イエスは永遠の命へと移されました。復活を祝うとき、イエスが経験したすべての闇、すべての孤独、すべての苦悩は、復活の光、希望、喜びが輝き出るためにあったのだと、はっきり分かります。イエスの復活は、人間が味わうすべての苦しみ、神のもとで永遠の喜びとひとつに結ばれていることを明らかに示しているからです。復活の光を当てられたとき、すべての苦しみは喜びとなり、すべての闇は光に変わります。復活の光の中で、私たちキリスト教徒は人間が味わう苦しみの意味を深く悟り、生と死を超えた人生の意味に気づくからです。主の復活は、まさに全人類の救いの源であり、私たちの人生の意味そのものだといえるでしょう。苦しみも含めて、私たちが日々の生活の中で味わうことのすべてが、永遠の命、神のもとでの永遠の喜びと不可分一体に結ばれているという事実こそ、私たちの人生は神の永遠の命と結ばれ、死によっても消えることのない不滅の意味を与えられるのです。

この喜びのときを、六甲教会のみなさんと共に過ごすことができる恵みを、神に心から感謝します。復活したイエスは、今このとき、六甲教会に集うみなさんの中に生きているからです。復活したイエスの姿を見ることはできませんが、六甲教会に集うみなさん一人ひとりの中に、生きているイエスをはっきりと感ずることができるからです。私はこれまで長いあいだ神学生としてイエスのことを勉強してきましたが、今こそイエスが誰であるのかを本当に知ることができるでしょう。みなさんの中に生きておられるイエスこそ、私が勉強してきたイエスそのものだからです。六甲教会のみなさんとひとつになって主の復活を祝うとき、私は生きたイエスとひとつになることができるでしょう。

これからこの教会で働かせていただく恵みを、神だけでなく、みなさんにも感謝したいと思います。助祭は主の食卓に奉仕するための役務であり、主の食卓に集うみなさんにひたすらお仕えすることが私の使命です。どんなことでも私に言いつけ、命じていただきたいと思います。そのままイエスへの奉仕であり、イエスへの奉仕は喜び以外のなにものでもありません。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



信徒の教会づくり

今月より、私たちの「信徒の教会づくり」を考えていくために、いろいろな方に様々な考えを述べて頂くコーナーを設けました。ご自分の思うところを投稿頂き、みなさまの意見の交換の場になれば、と願っています。

第1回は、規約改定委員会の会長の鈴木さんをお願いしました。（広報部）

3月16日、小教区総会において、このテーマに関連して「評議会規約改定委員会」の中間報告をさせて頂きました。

例年のごとくミサのあと大半の人は帰ってしまわれ、残ったのは145名、在籍信徒数の6.3%つまり16人にひとりしか出席しない総会でした。こんな総会で議決しても意味があるのか、との声があったりして、「信徒の教会づくり」が本当に必要だと誰しも思ったことでした。

けれども出席された人たちは本当に熱心に私の説明を聞いてくださり、教会のことを親身になって考えていただいていることがよくわかりました。

大変参考になるご意見を数々頂戴し、ありがとうございました。特に、六甲には六甲らしいやり方があっても良いのではないかと、というご意見はもっともだと思います。今後の委員会で検討させていただきます。やむを得ず欠席された方はぜひ議案書のうしろのページをご覧ください。

「信徒の教会づくり」で大切なことは、立派な規約や完璧な組織をつくることではなく、日々の活動のなかでキリストの愛と犠牲の精神を周りの人たちと共有し、司祭、修道者、信徒が平等に、信頼の心を以って協力し合える環境をつくることだと思います。

さらに社会にむかってキリストの教えを伝えるためには先ず、私たち一人一人がもっと聖書を読み、教理を勉強し、神秘体の一端として信仰を強めて、カテキズムに積極的に参加することが求められています。宣教活動の土台としてしっかりと司牧活動が行われていなければならないと思います。わたし自身を振り返ってみても、洗礼を授かって55年間、自分の好きなことだけには熱心に参加し、キリスト者として当然やらねばならなかった宣教、司牧活動からは目をそらし、安易な信者生活を過ごしてきたことを大いに反省しています。

この春から何かひとつ具体的に行動を起こそうと考えています。（鈴木）

2008年3月16日（日）小教区総会風景



小教区総会 議長 堀川 氏



参加者から活発な意見が飛び交う会場



みんなの広場

みなさまの分かち合いの場になれば、と「みんなの広場」を設けました。みなさまから原稿を頂戴しなければ成立しないコーナーです。どうぞご参加下さい。

地球の危機

六甲教会の皆様、ご復活祭おめでとうございます。

「神様が贈って下さった地球が重症の病に犯されている」など嘘のようですが、本当なのです。安芸神父様は、ミサで「世界の人間は概して神への感謝の念を忘れ、一つ何かが出来ると次から次へと欲が深くなり、便利さと利益ばかりを求めている。」とおっしゃいました。

産業革命以来、地球の温度は上がりっぱなしで、オゾンホール破壊、環境破壊、森林伐採、工場の煙、まだまだ書いたらきりがありませんが……。オゾンホールは50年かかつて今のような穴が空いた状態になったそうです。海底の変化、湖底の変化、魚の海流が変わる。えさの海草も生えなくなる。動植物の生態系の変化は、動物の餌がなくなり、絶滅してしまうのです。温暖化は人間が作り出したものです。世界中の国々、政治家、市民の人々が早く気がついて対策をしないと、50年後の地球って存在するのでしょうか。2歳半と9ヶ月になる孫達の安らかな寝顔を見ていますと、CO2削減に向けて、早く取り組まなければならないと思います。孫2人は私のものでなく、人類の縮図です。(アフリカの子供もイラクの子供達も孫と重なって見えます。) 人間に、他の動植物に必要なのは、太陽からの程よい距離にある光と熱と空気と美しい水です。「神が喜ばれる世界」とはどのようなものか、人類は深く反省しなければと思います。

(山本)



主任司祭の地平線

主の復活祭とともに、教会の庭ではアーモンドと桜の花が次々と咲き始めました。厳寒の冬を耐えてきた私たちは今、身も心も陽春を迎えた感じがします。或る雪国の小学校で、「雪や氷が溶けたら何になりますか？」という先生の質問に、「水です!」「水になる!」という多くの子供たちの正解以外に、一人の子供は「春になる!」と答えたそうです。雪や氷が溶けて谷川の流れとなり、花々が咲き始めるのは春のしるしです。大自然の息吹を肌で感じている子供の透き通った心には優しさとぬくもりがありますね。まさに、詩の心、福音の心、信仰心の始まりでもあると思います。

4月から、信仰入門や教理の勉強、聖書の分かち合い・典礼・祈りなどのクラスが始まります。信徒とシスター方が担当するクラスも増えました。出来るだけ多くの方々が、時間をみつけて参加されるようにお勧めします。 私たちが子供のような新鮮な心になり、神様の息吹を感じながら幸せに生きていくことが出来ますように。信仰を深め信仰に生きようとする人間の努力は尊く、神様の祝福と恩恵が豊かに注がれるでしょう。実は、そのために「教会がある!」のだと思います。

— 聖 週 間 —

★★★ 受難の主日（枝の主日）★★★ 3月16日(日)

イエス・キリストがロバに乗って、エルサレムに入城されたのを記念する日。
しかしこれからキリストの十字架への受難の道が始まります。



午前7時のミサではコリンズ神父様が、30年数年前に司祭に叙階された時、お母さんが作られた、愛のこもった赤い祭服を着て司式されました。色といい、模様といい素晴らしい祭服に思わず感動しました。

(一信徒のつぶやき)



午前10時のミサでは、春の日差しが射す聖堂前の庭からエルサレム入城を記念して、桜井神父様、奉仕者の後に続いて信徒は聖堂に入りました。

★★★ 聖木曜日「主の晩餐のミサ」★★★ 3月20日(木)

最後の晩餐を記念するミサと洗足式。



■ 洗足式に与って（信徒の声）

- ◎ 神様が罪人である私の足を洗って下さる……。何という感動でしょう。理屈ではなく、何とも言えない喜びで満たされました。この事を通して私の心の中の罪や穢れが洗い流されますように祈ります。（森川さん）
- ◎ 足を洗って頂いたのは勿論初めてのことです。謙遜と博愛の大切さが右足の先から伝わってきました。忘れません。（川合さん）



■ 聖体安置式

聖堂の聖櫃にある「ご聖体」を
仮祭壇に移す。



★★★ 聖金曜日「主の受難の祭儀」★★★ 3月21日(金)

「ことばの典礼」、「十字架の礼拝」、「交わりの儀」の三つの部分で構成され、キリストの受難と死を思い起こす祭儀です。



キリストの死をかたどり、祭壇には何も置かれていない。



十字架の顕示



十字架の礼拝

★★★ 復活の主日「復活の聖なる徹夜祭」★★★ 3月22日(土)

キリストの復活によって新しい命に与る祭儀で、「光の祭儀」、「ことばの典礼」、「洗礼と堅信」、「感謝の典礼」の4つの部分で構成されています。



「光の祭儀」は聖堂の外で行われ、火を祝福し、新しい火で復活のろうそくをとます。そして聖堂内へ行列を開始し、聖堂内の人々のろうそくに火が灯される。



1年の教会の暦の中でも最も豊かな「ことばの典礼」、復活徹夜祭のことばの典礼が始まる。



洗礼の儀と堅信の儀



今夜は12名の方が受洗された。



「感謝の典礼」受洗者は両形態の聖体拝領に与る。



★★★ 復活の主日 ★★★★★ 3月23日(日)

自分達で作った卵300個を聖堂出口で配る中高生会の子供たち。



2008 年度 小教区総会報告

- ・開催日時：2008 年 3 月 16 日(日)11：15～12：45
- ・場 所：カトリック六甲教会聖堂
- ・出席者数：145 名



評議会議長 高山氏

1. 主任司祭あいさつ

2. 評議会議長あいさつ（高山議長）

これからの六甲教会がもっといきいきとした教会になるよう、今回の総会テーマを「信徒の教会つくりー信徒自らが信仰養成をすることから始めようー」としたことについて説明。

3. 総会議長ならびに書記選出

4. 議事

- (1) 新役員の選任および承認
- (2) 各部/会の 2007 年度事業報告および 2008 年度方針
- (3) 評議会 2007 年度予算支出状況および 2008 年度予算（財務部）
- (4) 教会 2007 年度会計報告（教会財務担当 藤原 泰）
- (5) 「信徒の教会つくり」を目指しての評議会組織案（規約改定委員会）
- (6) その他

小教区総会を終えての感想：

参加者が在籍信徒数の 6 %と、まだまだ総会に対する認識不足。そして議事は会計関連の質疑応答に終始し、もっと話し合わなければならない「信徒の教会つくり」については、時間切れの為、消化不良に終わってしまった。このテーマは今後もまたいろいろな場でとりあげ、信徒一人一人が考え、協力して築き上げていかなければならない大きな課題だということをあらためて認識しました。（蛭田）

新・小教区評議会副議長 紹介

2008 年度小教区評議会副議長に就任された森川（婦人会会長）さんです。

「今年度小教区評議会の副議長をお引き受け致しました。大役ですが、一生懸命力を尽くしたいと思います。

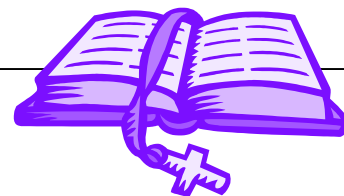
みなさま、どうぞよろしくご協力、お祈り下さい。」

尚、評議会議長 高山さん、副議長 蛭田さんはもう 1 年継続されます。

聖書勉強会のご案内

■信仰入門ご案内

4 月から始めます「キリスト教とは何か」の一年コースのご案内を致します。「キリスト教とは何か」の質問に、初めての方々と対話を交えながら、基本的な内容をやさしく簡潔に紹介して、キリスト教を少しでも理解していただき、お一人お一人の人生の歩みの上で、信仰が人を自由にし心の底に喜びと希望と力が与えられますことを願っております。



（一年コース 第 2・4 月曜日 10:30～） Sr. 吉田

～・～・～ 各部紹介 ～・～・～

今月より、専門部会の各部会の紹介をしていきます。各部ではみなさんの参加をお待ちしています。教会の運営・活動に協力下さい。

広報部

コーディネーター 蛭田

光陰矢のごとし。早いもので私が広報部のコーディネーターをお引き受けして、丁度1年が経ちました。何とか皆様に読んでいただける「教会報」にしたいと思いつつも、忙しさにかまけここに至りました。広報部コーディネーターとして、桜井神父様からは毎回発行後に厳しい批評を受けながら、時には馬耳東風、時には深く反省したり、落ち込んだり、また喜んだりしている毎月です。しかし、いい教会報にする為には、信徒の皆様一人一人のご協力なしには出来ません。現在、編集は3人が月ごとに交代で担当していますが、担当月がすぐ来てしまい、発行するだけが精一杯の月もあります。4月から新たに1名加わっていただき、多少余裕が出来るかなと思っています。

また4月からレイアウトも一部変更し、新コーナーとして「**信徒の教会づくり**」を設けました。今、教会は神父の老齢化、神父の召し出しの減少で神戸地区でも神父不在の小教区があります。大阪地区はもっと多いと聞いています。六甲教会はそんな中であって、まだ恵まれた環境にあると思いますが、将来を見据えると、安閑としておられないのではないのでしょうか。そこでこのコーナーは、皆様に自分の思う「教会づくり」を書いていただき、時には問題提起して頂いたり、アイデアを出して頂いたりして、みんなで考えるきっかけになればと、望んでいます。

今年の広報部の方針は、「**①信徒のための教会報の発行、②宣教媒体としての広報のあり方の追求・推進、③新規広報部員の募集、確保**」を掲げていますが、方針倒れにならないよう編集部員力を合わせて、更に内容の充実を図っていきたいと思っています。是非、皆様の教会報への投稿、ご意見、ご指導をお待ちしております。

それともう一つの柱であるホームページにも力を入れています。常に新鮮であることをモットーに、リアルタイムに更新し、未信者の方が見ても分かり易く、ビジュアルなものを目指しております。特にこれからホームページを見て、教会を訪れる若者が増えることを望んでいます。これは“**宣教**”につながる一つの大きな媒体2だと考え、スタッフ一同日々新たな気持ちで取り組んでいます。その他チラシやポスター作成のお手伝いなどあり、仕事いっぱいです。

是非、「私も広報部に参加したい」と思われる方がおられましたら、ご遠慮なくお声をかけて下さい。広報部員一同大歓迎です！！



各部だより

各部の活動の連絡を記載いたします。教会活動の参考になさして下さい。

☞婦人会

4月より新年度が始まります。今年度も皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

4月4日(金) 初金ミサ後婦人会総会と午後よりトップ会があります。皆様、ご出席下さい。

婦人会総会 11:00 聖堂にて

トップ会 13:00 第4会議室にて

☞三日月会

例会 4月21日(月)14:00

講演三浦優子氏「グレゴリオ聖歌」

ビデオ鑑賞

喫茶 4月6日9時ミサ後～13:00

於 イグナチオホール

📖青年会

定例会 4月13日(日)12:30

4月27日(日)12:30

内容:聖書のかち合い、今年度の予定について

※ 初めての方もお気軽にご参加下さい。

📖典礼部

聖体奉仕者の黙想会について

・日時: 4月27日(日)13:30~17:00

・場所: 大聖堂

・指導: コリンズ神父様

📖教会学校

入学式・始業式 4月12日(土)

通常授業 4月19日(土)

ホールミサ 4月26日(土)

※ 新学期がはじまります。ぜひお友だちを誘って教会学校におこしください。

※ 教会学校のパンフレットがあります。ご利用ください。

📖社会活動部

シナピス定例会

4月13日(日)14:00 於: たかとり教会

平和旬間行事の打ち合わせ

連絡会

5月2日(金) 10時初金ミサ後、開催予定



<お 知 ら せ>

各部の活動の連絡ですが、広く信徒の皆さんに呼びかける内容の記事をここに記載いたします。教会活動の参考になさってください。

【社会活動部より】

4 / 2(水)10:00 手芸の集い(第1・2会議室)

♪どなたでも参加ご自由です。

4 / 20(日)9時ミサ後 手作りコーナー(イグナチオホール)

♪お弁当・食品・手作り小物等の販売

~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~

### 「手作りコーナー」からの報告

教会の活動の一つとして毎月第3日曜日にイグナチオホールの片隅で手作りの物を販売しています。コーナーから感謝とご報告を申し上げます。毎回、手作り弁当・お寿司・炊き込みご飯・いなり寿司・おかず・パン・ケーキ・手芸から植木まで手作りの物、また贈答品のご寄付を頂いています。一方では信徒の方々にお買い上げのご協力を頂き、いつも暖かいお心とご支援にメンバー一同心より感謝申し上げます。

少しずつですが各施設へ寄付させて頂きましたので、ご報告いたします。今後も細々とですが、各施設への寄付を続けていくことができます様に祈りながら活動していきたいと願っています。販売メンバーのお手伝いもお申し出を頂き、活動の輪を広げていけますことも感謝しております。

今年度もよろしくお願い申し上げます。

(手作りコーナー メンバー一同)

~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~

「須磨方面夜回りのおにぎり作り」終了のお知らせ

毎月第4金曜日 14:00 から行われておりました「おにぎり作り」が3月28日を持ちまして終了いたしました。長年に亘りご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

毎回、和気あいあいと楽しいおにぎり作りでした。4月からはたかとり教会が引き続き支援していただきます。このお手伝いが始まりました頃に比べ、野宿者の人数は確実に減りましたが、高齢化が進み、亡くなられる方、病気の方が増えているのが現状です。おにぎり作りはなくなりますが、野宿を余儀なくされている方たちが居ることを忘れず、支援の呼びかけがありました時にはどうかご協力くださいますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~

## 【広報部より】

広報部で作りましたカレンダーと教会のはがきの売上げが少しまとまりましたので、教会広報活動のために使って頂くために、4月27日の「世界広報の日」の特別献金として30,000円を寄付しますことをご報告いたします。ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

神戸地区評議会広報部で発行しています「つながり」4月号(4月6日発行予定)には、神戸地区の各小教区で開催されている信仰入門や聖書研究、祈りのクラスの紹介をしています。信仰を深めるための機会として、参考になさってください。

## 4月の予定

|    |   | 教会暦                 | 教会行事                               |
|----|---|---------------------|------------------------------------|
| 4  | 金 |                     | 初金 7:00 10:00 ミサ<br>11:00 婦人会 総会   |
| 6  | 日 | 復活節第3主日             | 12:30 壮年会 総会                       |
| 7  | 月 | 聖ヨハネ・バプティスタ(ラ・サル)司祭 |                                    |
| 9  | 水 |                     | 10:00 神戸地区シルバーコース<br>(神戸中央教会)      |
| 11 | 金 | 聖スタニスラオ司教殉教者        |                                    |
| 12 | 土 |                     | 14:30 教会学校 入学式                     |
| 13 | 日 | 復活節第4主日<br>世界召命祈願の日 | 17:00 海星病院 集会祭儀                    |
| 20 | 日 | 復活節第5主日             |                                    |
| 21 | 月 |                     | 14:00 三日月会 ミサと例会                   |
| 25 | 金 | 聖マルコ福音記者            |                                    |
| 26 | 土 |                     | 14:30 教会学校 ホールミサ                   |
| 27 | 日 | 復活節第6主日<br>世界広報の日   | 13:30 聖体奉仕者 黙想会<br>17:00 海星病院 集会祭儀 |
| 28 | 月 |                     | 11:00 ベビーとママの集い                    |
| 29 | 火 | 聖カタリナ(シエ)おとめ教会博士    |                                    |



アーモンドの花びら

一気に春めいてきた教会の庭の木々に、活気が蘇ってきた。アーモンドの木にも可愛い花びらが開き始め、門の横の桜ももうすぐ満開。教会学校にまた新1年生が入ってくる。新たな気持ちで、活気ある共同体をみんなで築きあげよう！



#### 広報部員のつぶやき

新しい年度をむかえ、教会報のレイアウトの変更を行いました。いかがでしょうか？是非、ご意見をお聞かせ下さい。

行事報告に加え、皆様からの投稿を載せるコーナーを多く用意しました。「信徒の教会づくり」には今後の教会の姿を、「みんなの広場」には日々の暮らしの中での気付きや思いをお寄せ下さい。もうひとつの教会として、皆様との交わりの中でより良い教会報を作っていきたいと望んでいます。特に事情があって教会に来ることができない方には、お手紙、FAX、インターネットを通じてご参加いただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。 ふ

|                                                                         |                             |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 教会報5月号の発行は、4月27日(日)です。                                                  | カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会           |
| 編集会議は4月20日(日)です。                                                        | 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21   |
| 記事原稿は、4月13日(日)正午までに信徒会館                                                 | 電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 |
| 受付へご提出願います。(広報部)                                                        | 発行責任者 桜 井 彦 孝 神 父           |
| <a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a> | 編 集 広 報 部                   |